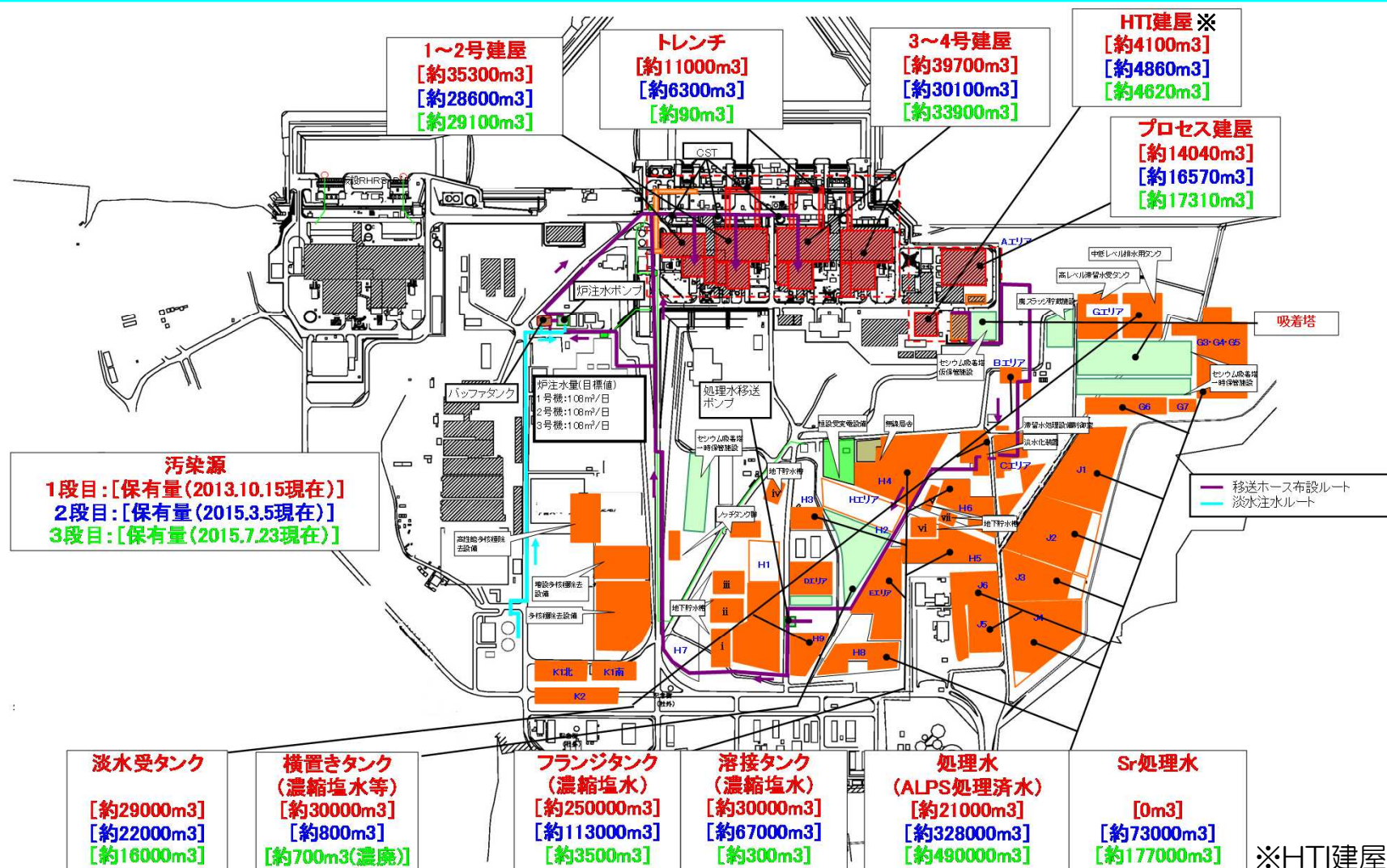


参考2-1 リスクマップ詳細

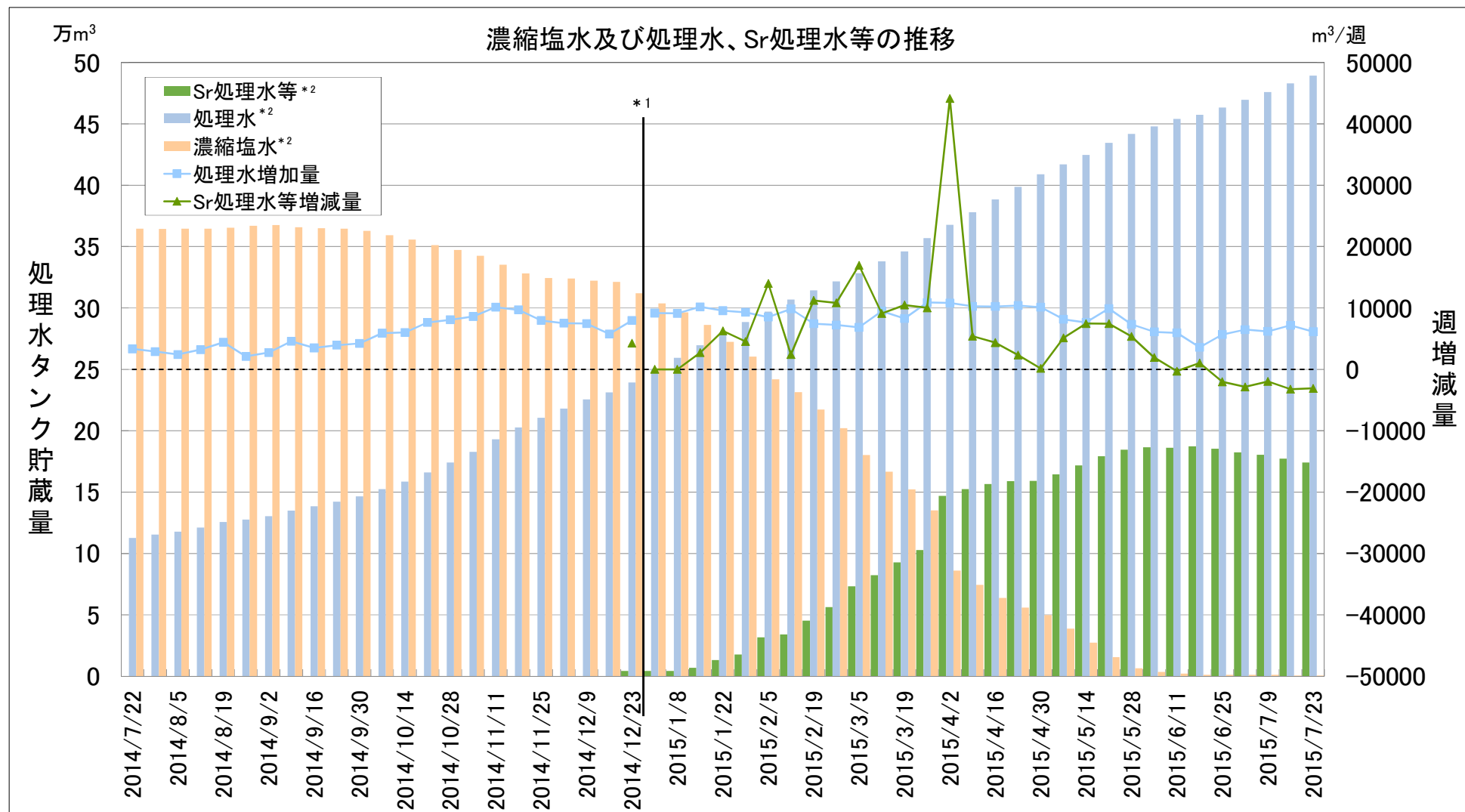
(1) 汚染水の貯蔵状況

- 建屋貯蔵量：水位調整の変動範囲内であり、前回（2015.3）と比べて貯蔵量の**大きな変化はない**。
- トレンチ貯蔵量：2号機及び3号機海水配管トレンチの閉塞により、貯蔵量が**減少**している。
- タンク貯蔵量：多核種除去設備、モバイル型ストロンチウム除去装置等による浄化により、タンク底部の残水を除き、**濃縮塩水の処理が完了**。Sr処理水の処理を進めている。



（１）汚染水の貯蔵状況

■タンク貯蔵量：汚染水の貯蔵量は増加しているが、多核種除去設備等による汚染水の浄化が進み、タンク底部の残水を除き、濃縮塩水の処理が完了（2015年5月）。ストロンチウム処理水の処理を進めている。



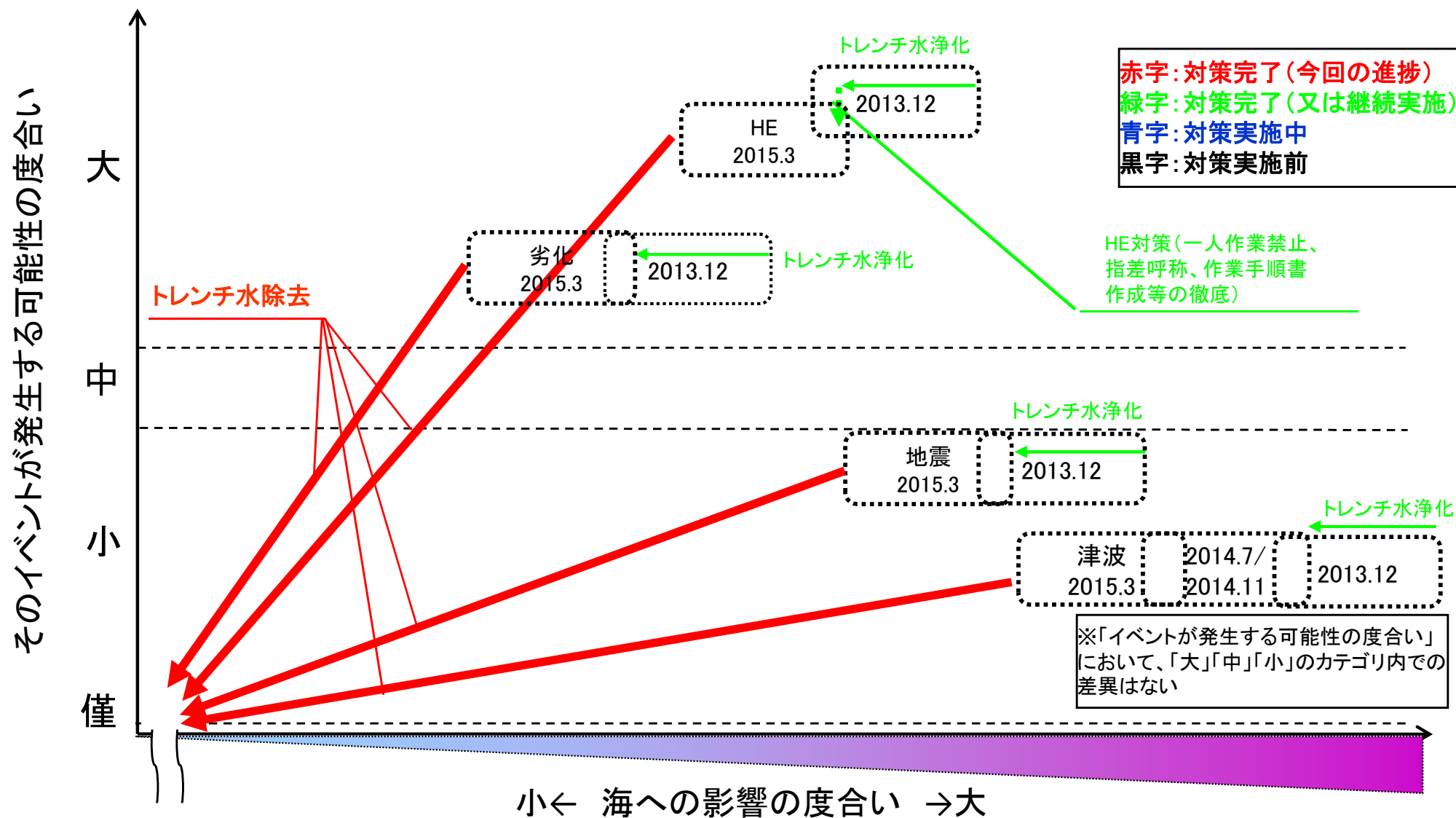
(2) 各貯蔵箇所毎のリスクの低減状況

- 2015.7現在の各対策の進捗状況に鑑み、リスクの低減状況を評価した。
- 具体的には、以下の貯蔵箇所について、漏えいが発生するイベント（経年劣化、ヒューマンエラー、地震、津波等）毎に実施された対策の効果をリスクマップを用いて評価した。
- 前回評価（2015.3）以降には、以下の対策が進捗している。
 - ・ 多核種除去設備(ALPS)等により、タンク底部の残水を除き、2015年5月にRO濃縮塩水の処理が完了。
 - ・ 2号機海水配管トレンチからの汚染水除去が2015年6月に完了。
 - ・ 3号機海水配管トレンチからの汚染水除去は2015年7月末に完了する見込み。

No.	貯蔵箇所
①	トレンチ
②	建屋
③	フランジタンク（濃縮塩水）
④	溶接タンク（濃縮塩水）
⑤	横置きタンク（濃縮塩水）
⑥	フランジタンク（ALPS処理水）
⑦	溶接タンク（ALPS処理水）
⑧	フランジ／溶接タンク（Sr処理水）

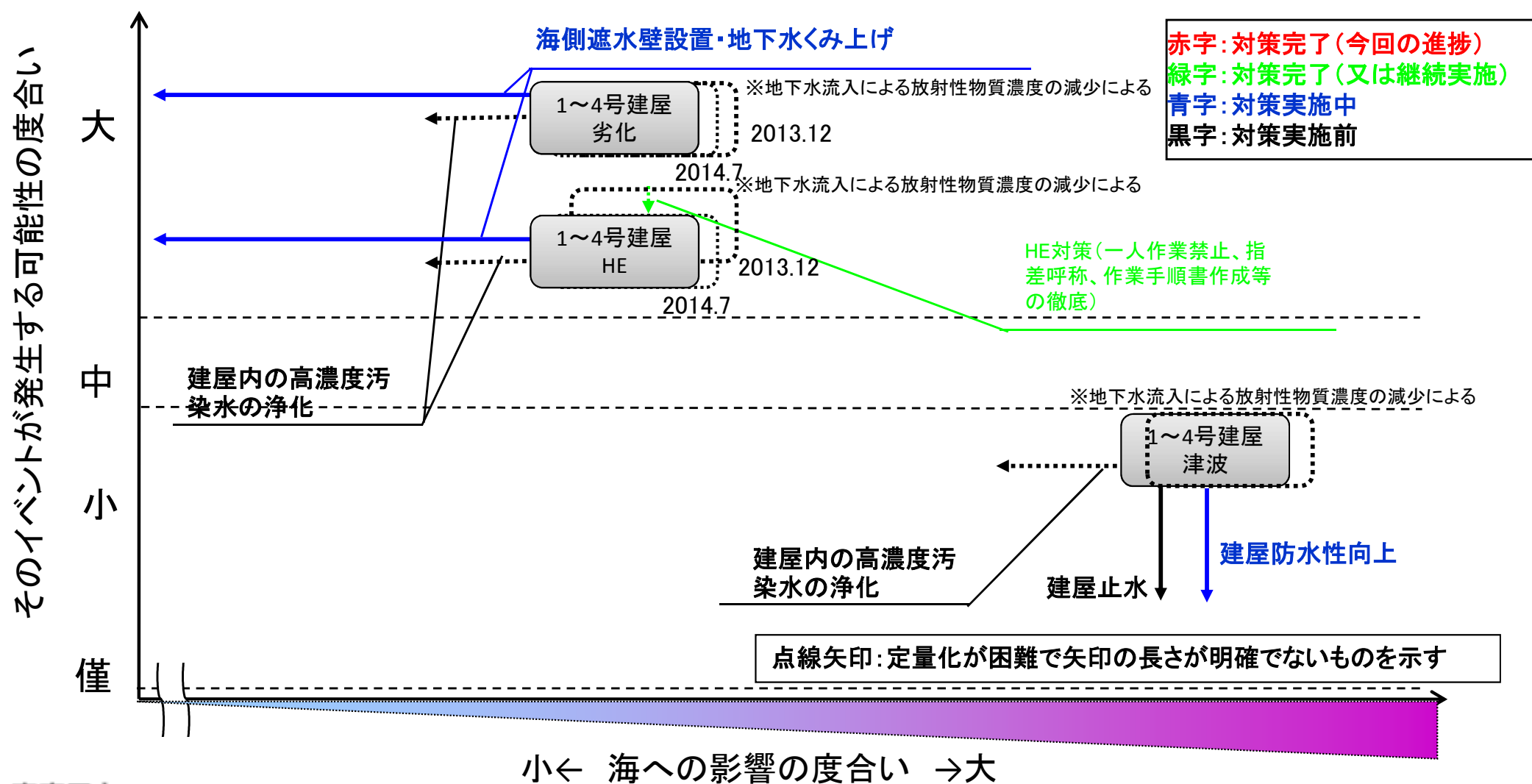
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【①トレンチ】

- 2015年6月に2号機海水配管トレンチ内の汚染水除去完了
- 2015年7月末に3号機海水配管トレンチからの汚染水の除去が完了する見込み。



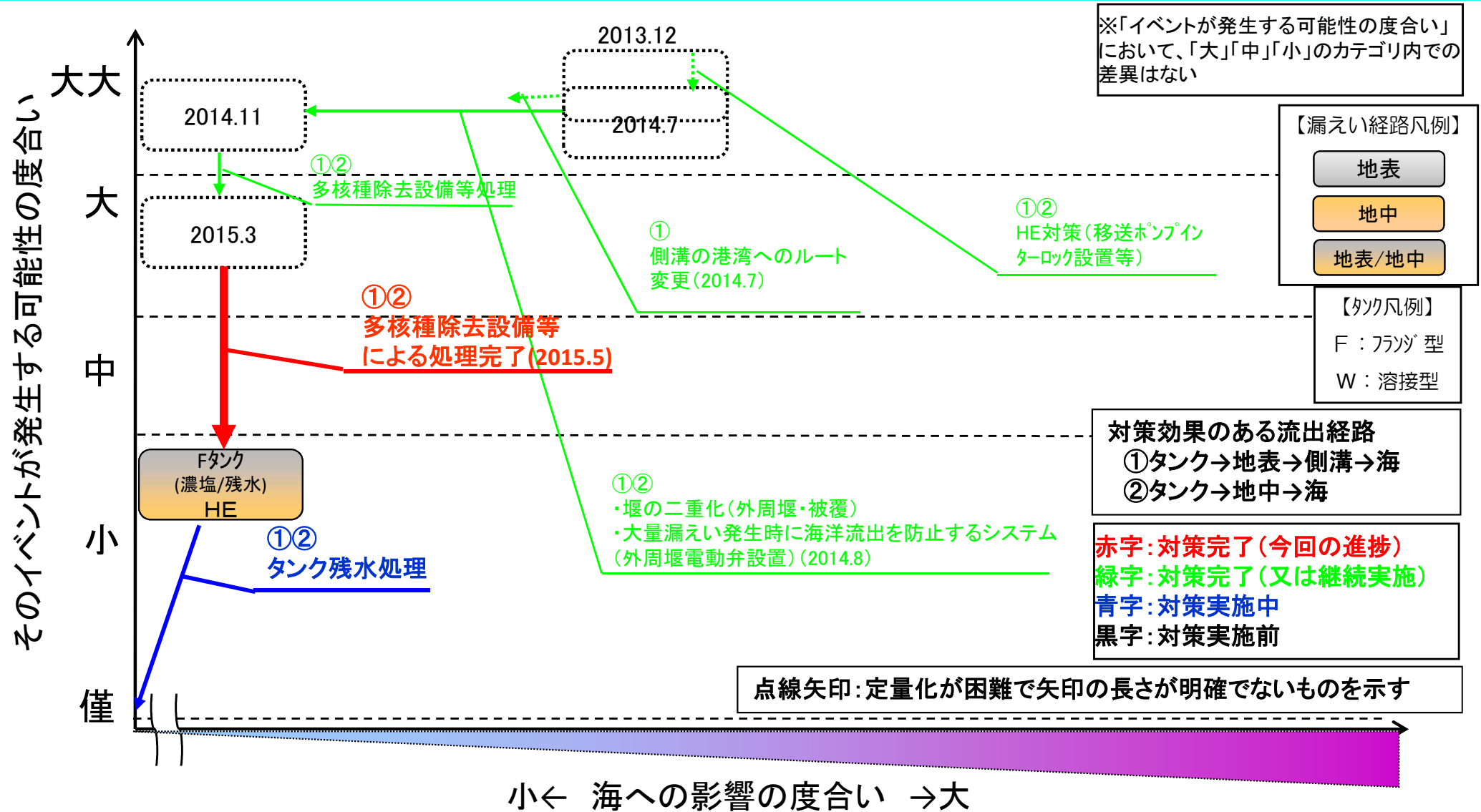
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【②建屋】

■海側遮水壁の設置は9割以上の工事が進捗している。サブドレン他設備においてくみ上げた地下水を安定的に浄化・移送できることが確認できた後、海側遮水壁を閉合する計画。



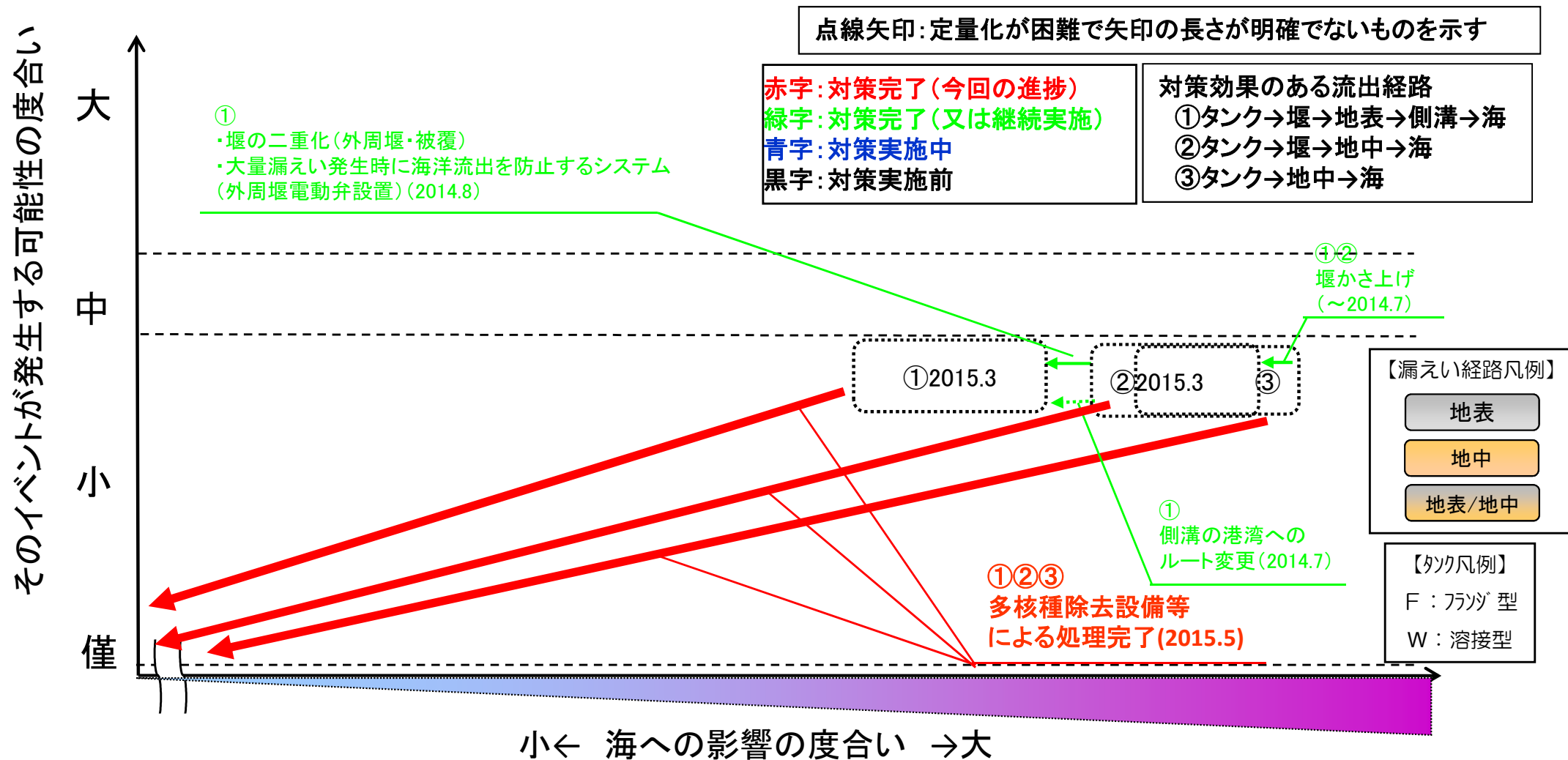
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【③-1フランジタンク（濃縮塩水）/ヒューマンエラー】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
- 残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。



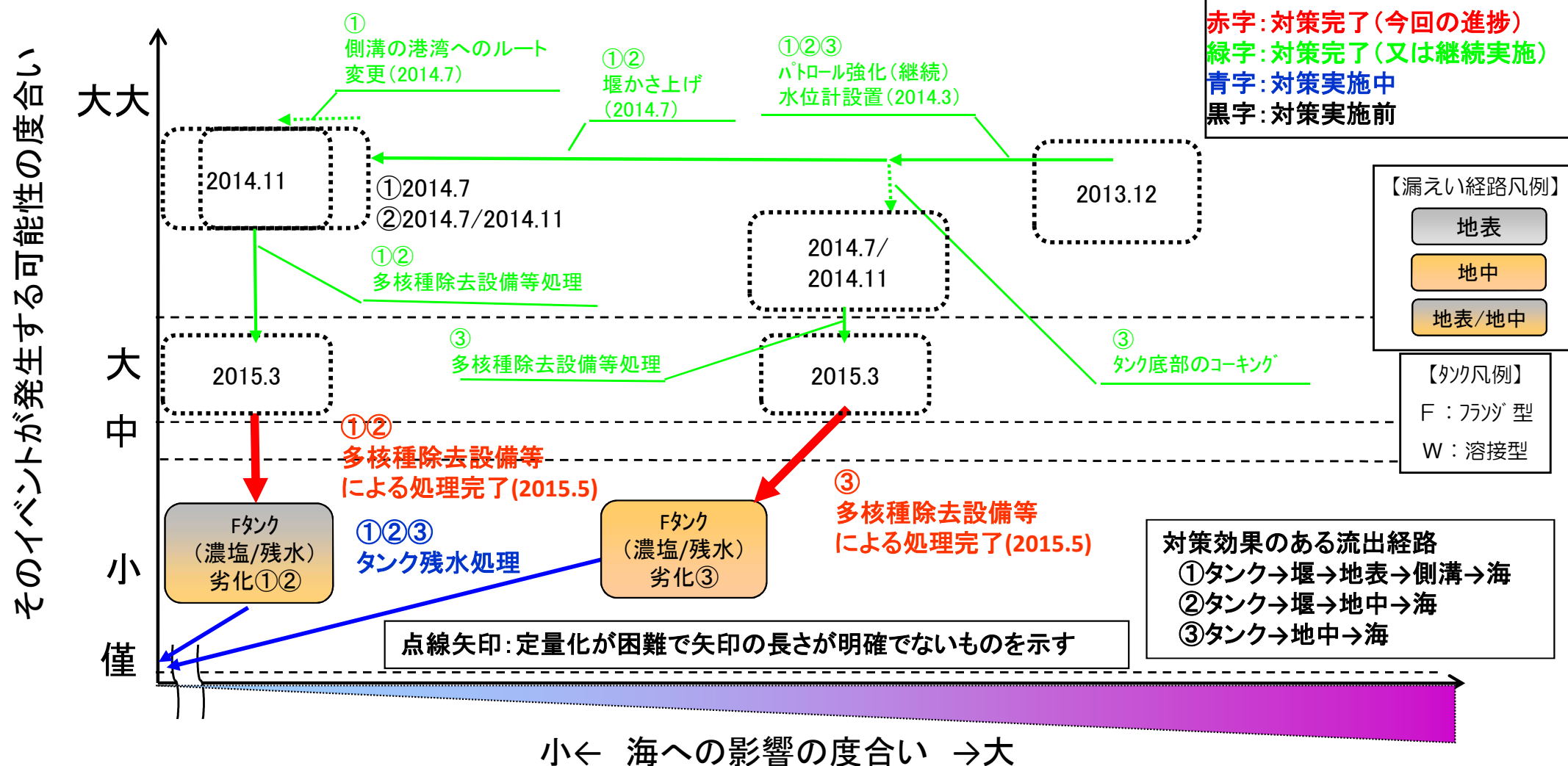
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【③-2フランジタンク（濃縮塩水）/地震】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
■残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。

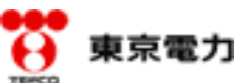


汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【③-3フランジタンク（濃縮塩水）/経年劣化】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
- 残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。

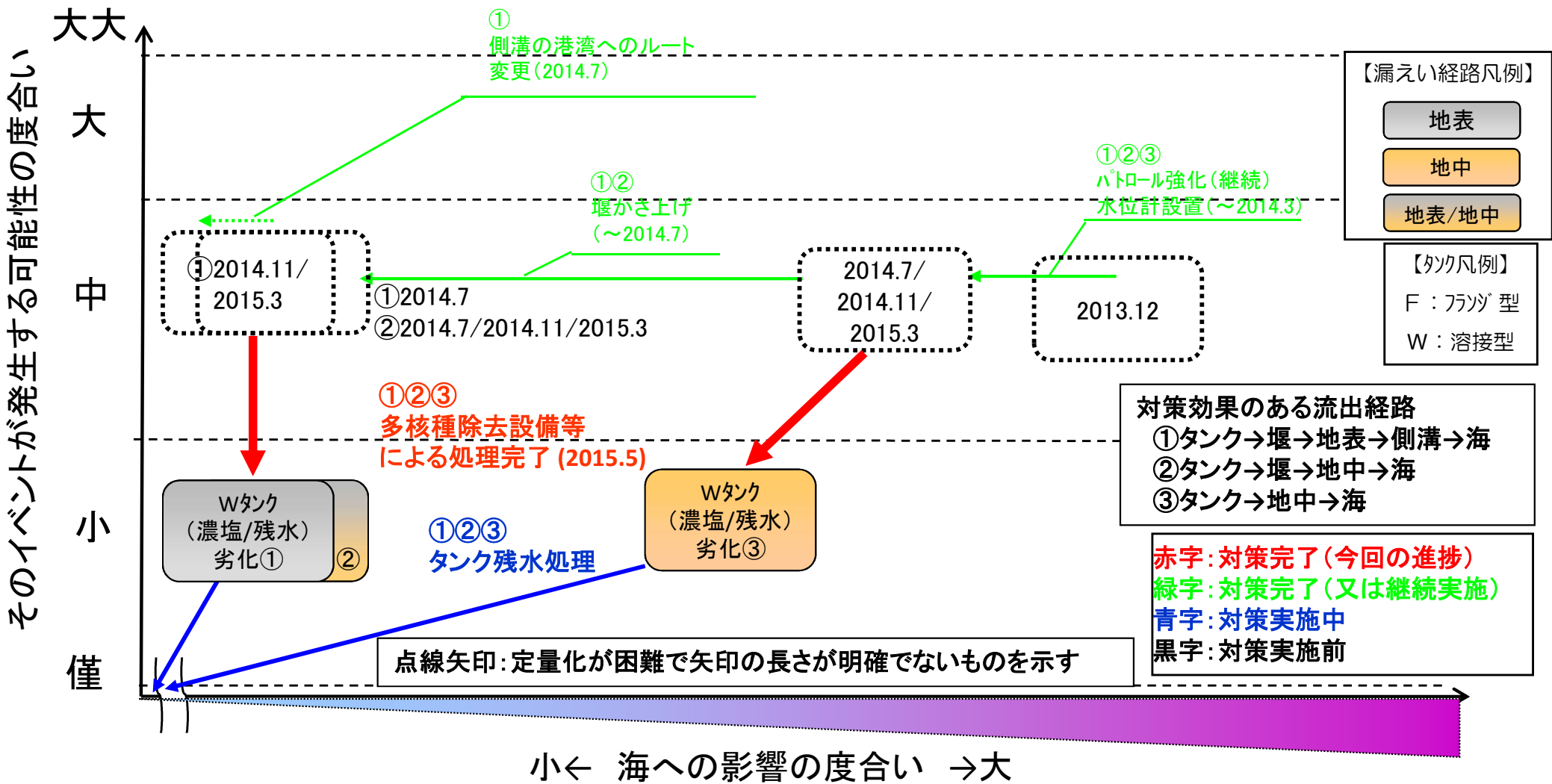


■多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
■残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。



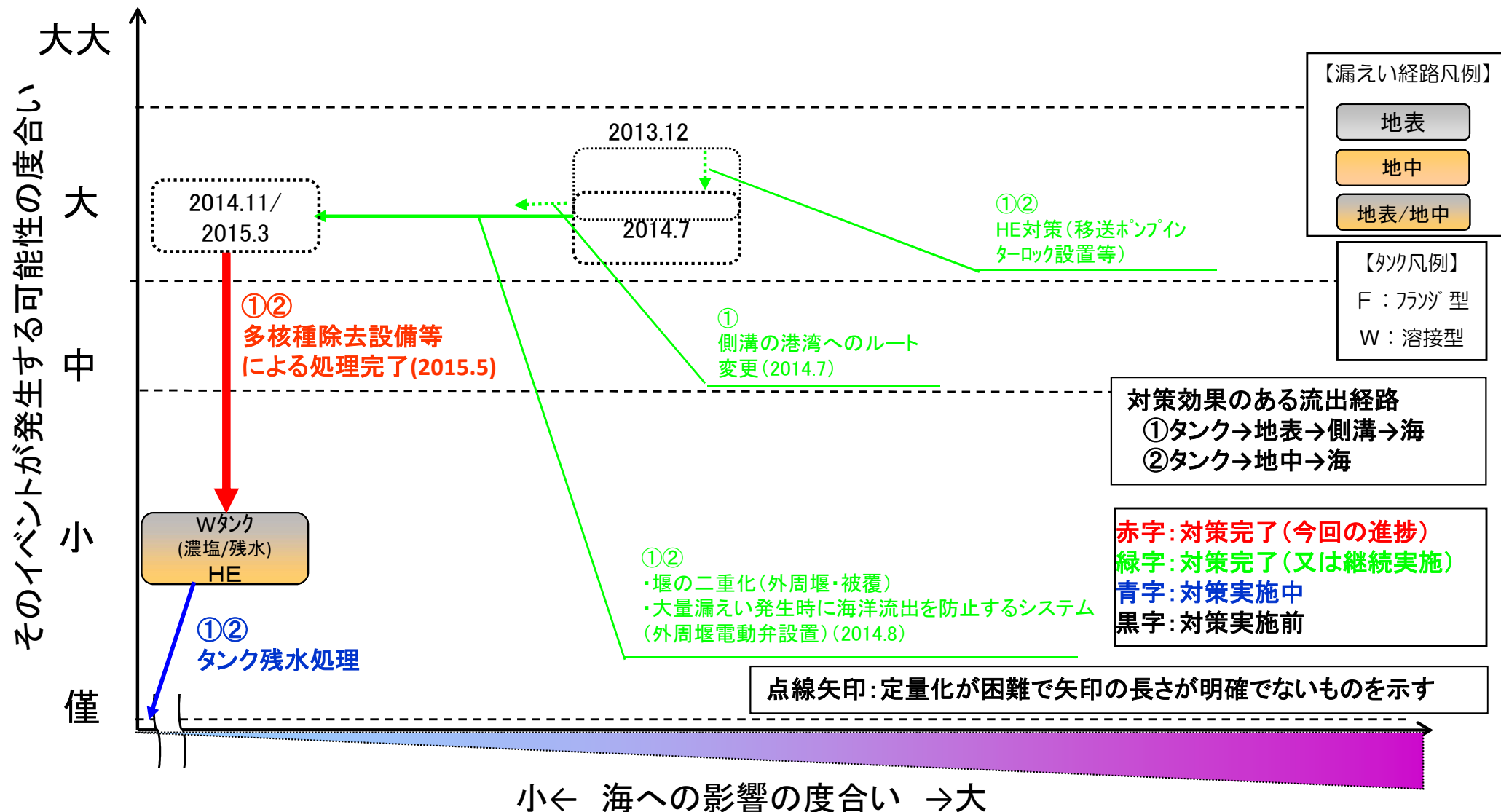
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【④-1溶接タンク（濃縮塩水）/経年劣化】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
- 残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。



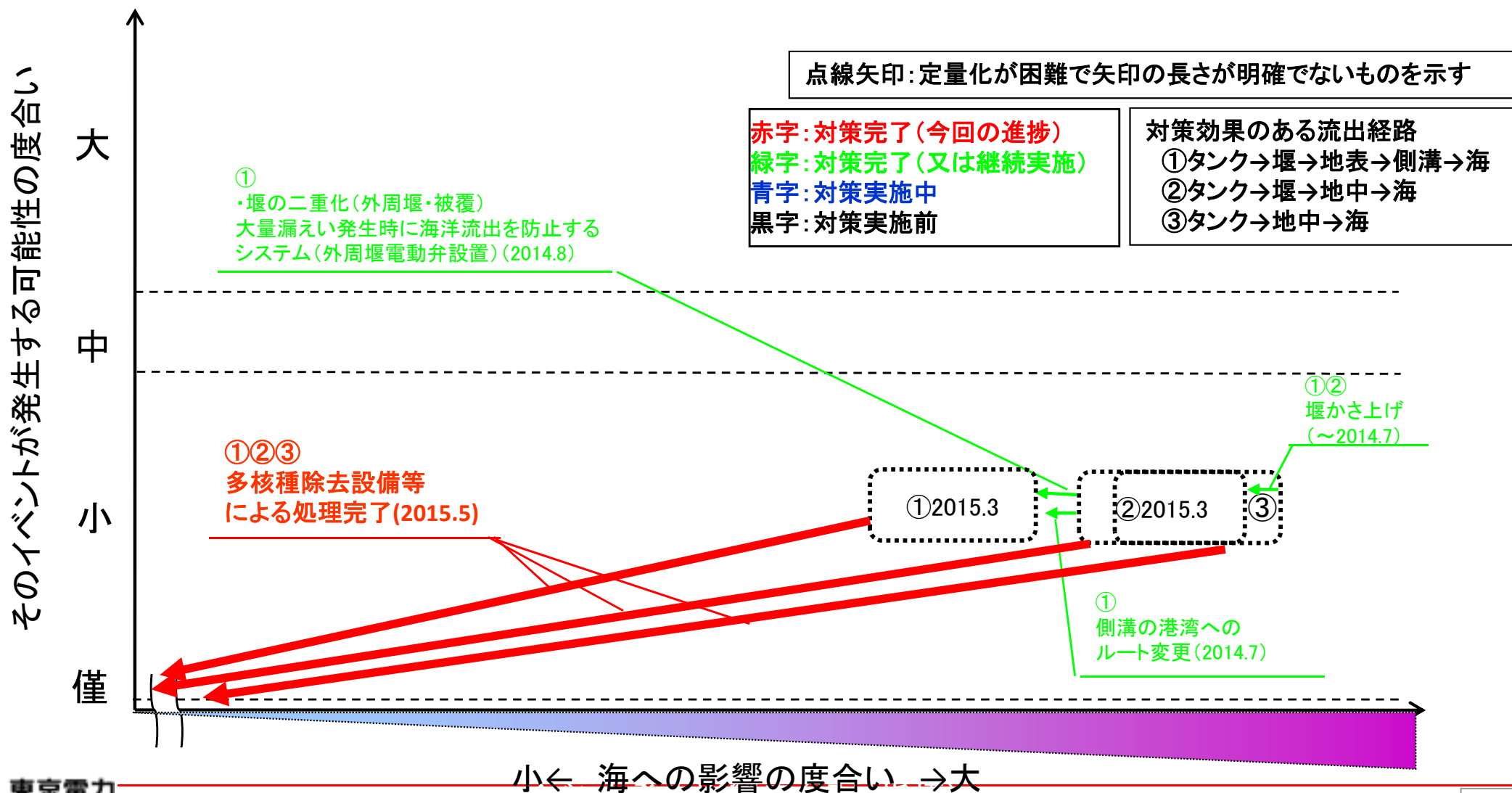
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【④-2溶接タンク（濃縮塩水）／ヒューマンエラー】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
- 残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。



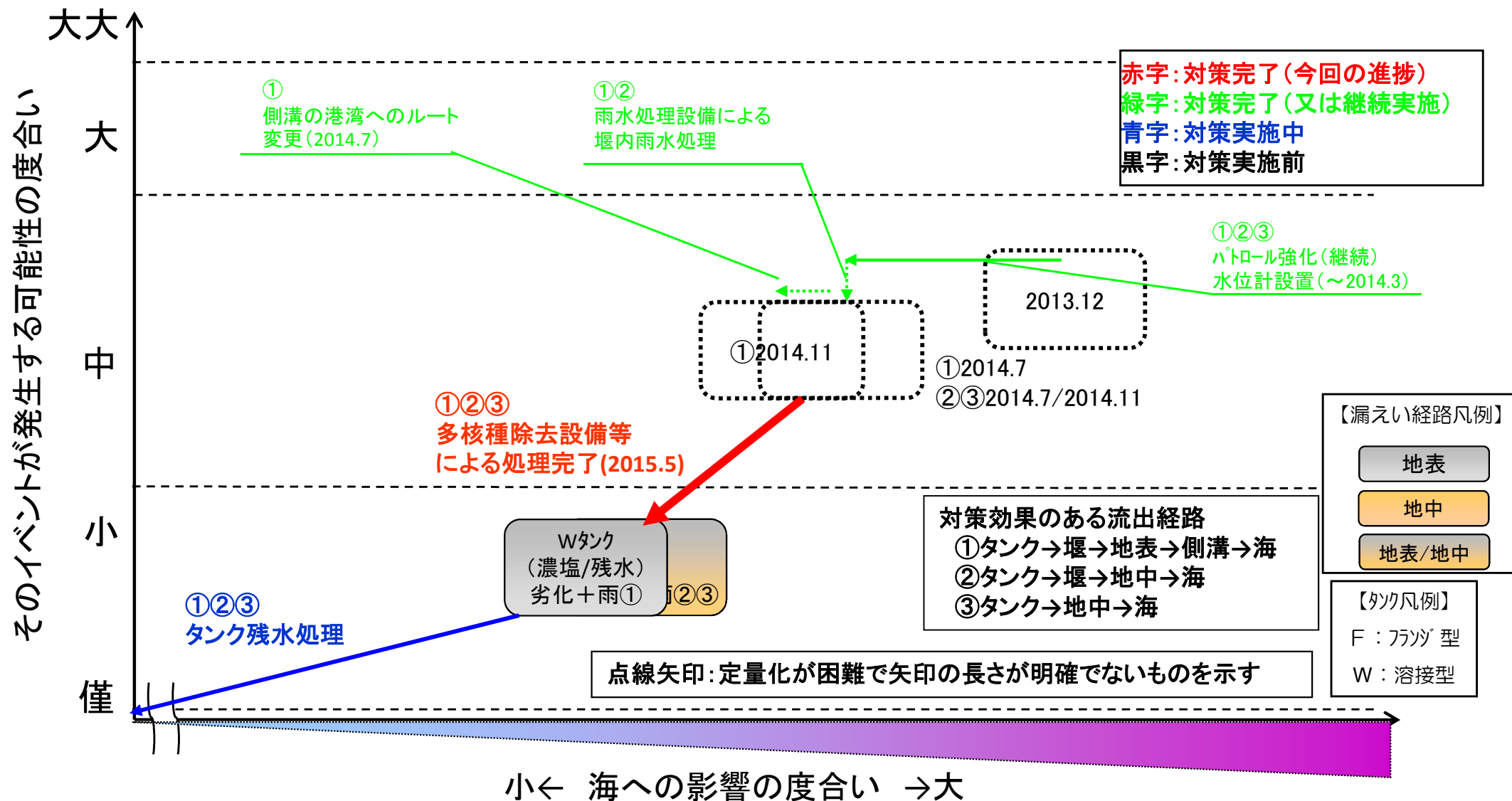
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【④-3溶接タンク（濃縮塩水）／地震】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
- 残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。



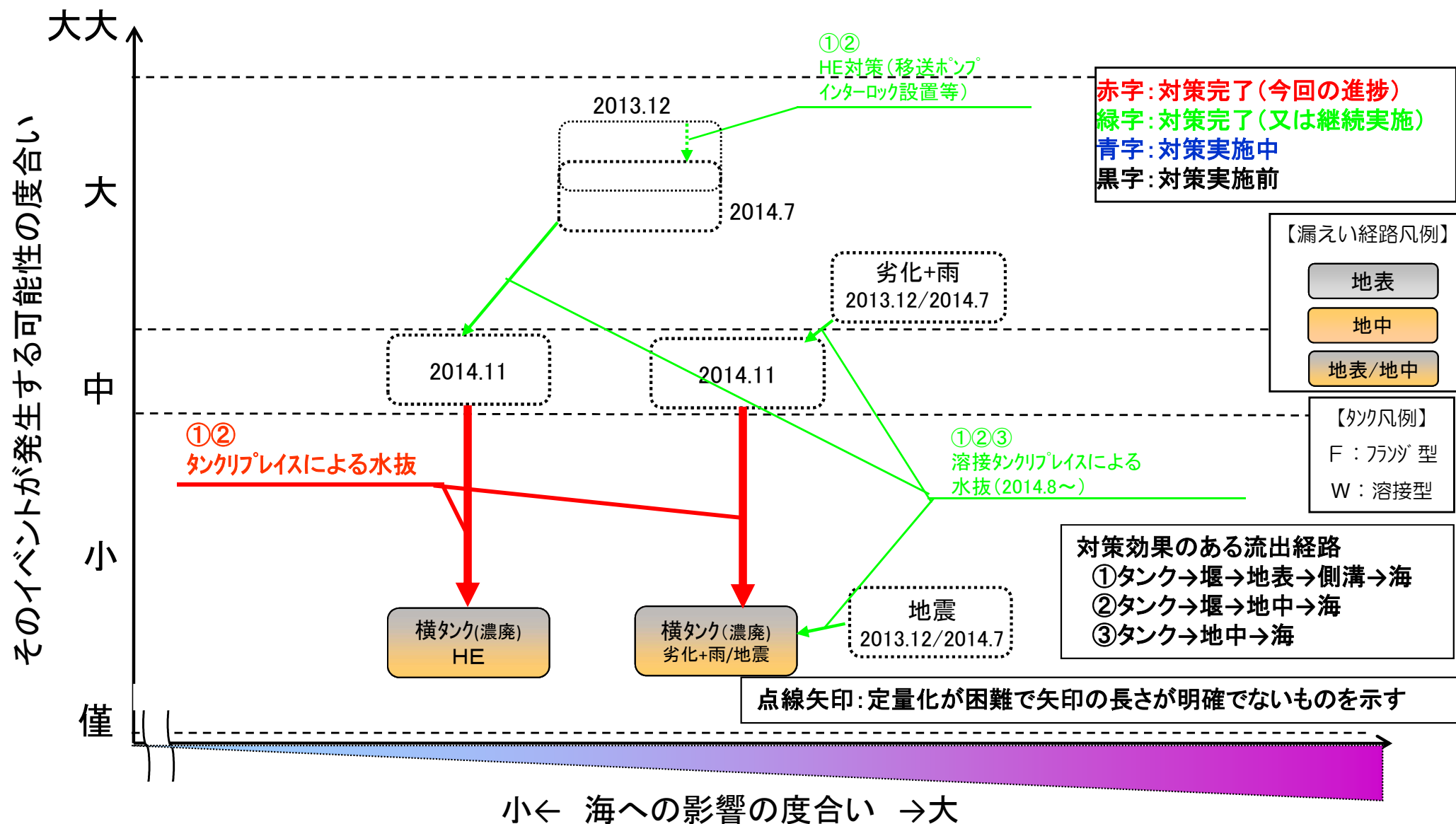
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【④-4溶接タンク（濃縮塩水）／経年劣化＋雨】

- 多核種除去設備やその他の浄化設備により、タンク底部の残水を除き、2015年5月に濃縮塩水の処理が完了
- 残水処理にあたっては、安全を最優先に考え、ダストの飛散防止・被ばく防止対策等を十分に施しながら、タンク解体時に順次処理。



汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【⑤横置きタンク（濃縮廃液）】

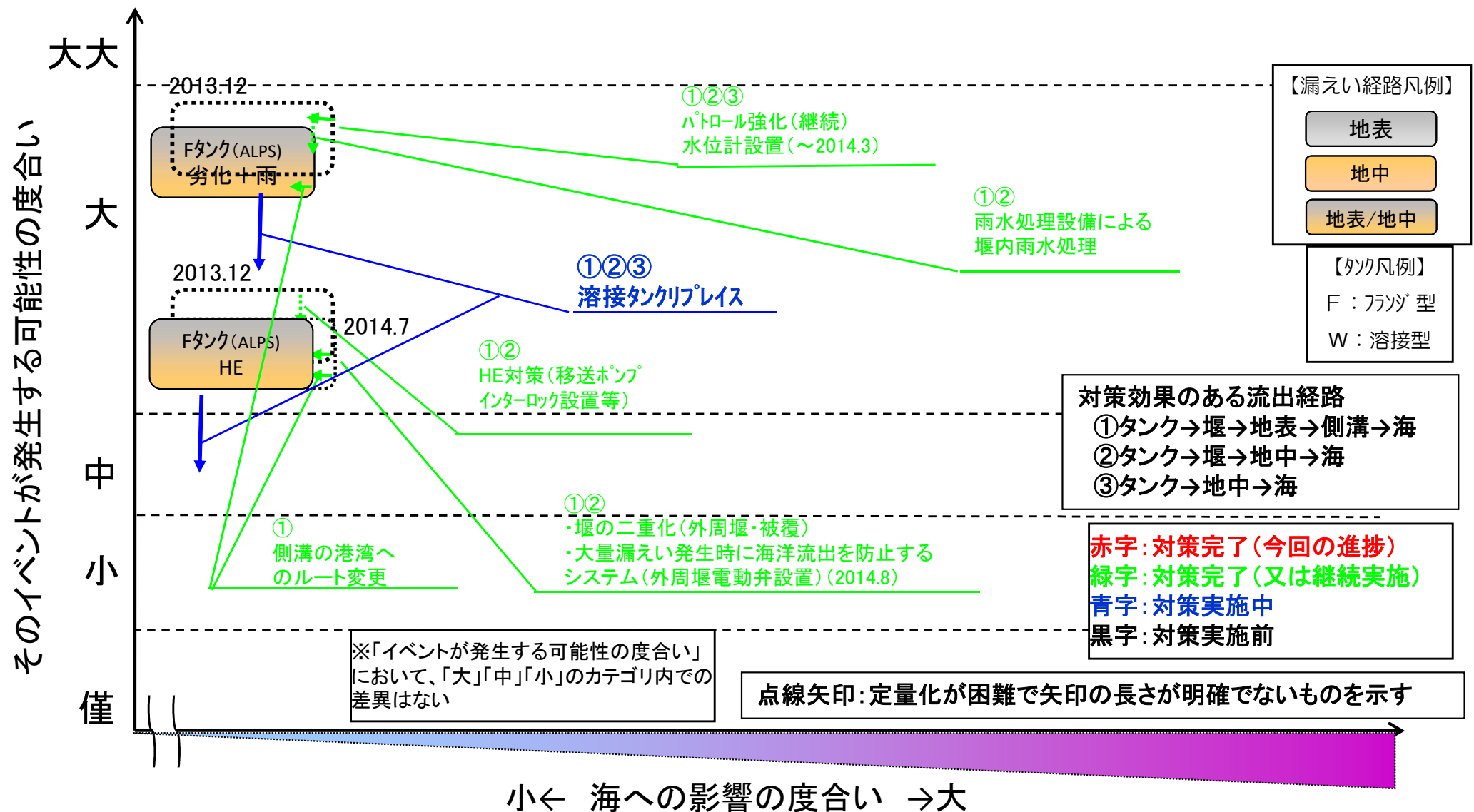
- 横置きタンクよりポンプでくみ上げ可能な汚染水を除去。
- 残留するスラッジ分は、水処理二次廃棄物と同等の管理とする。



汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）

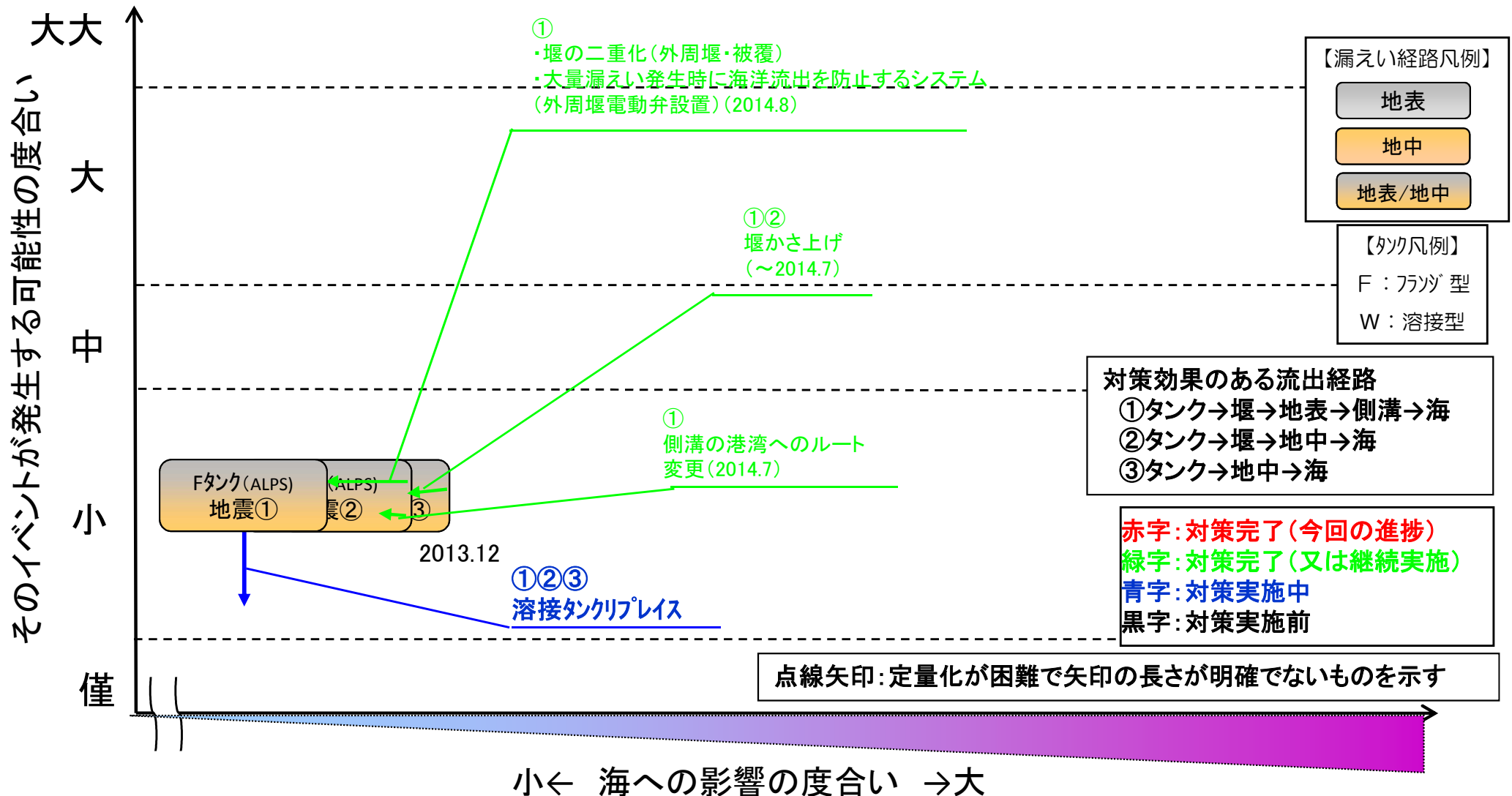
【⑥-1フランジタンク（ALPS処理水）／経年劣化＋雨・ヒューマンエラー】

■タンクリプレイスにより、劣化による漏えいリスクを低減。



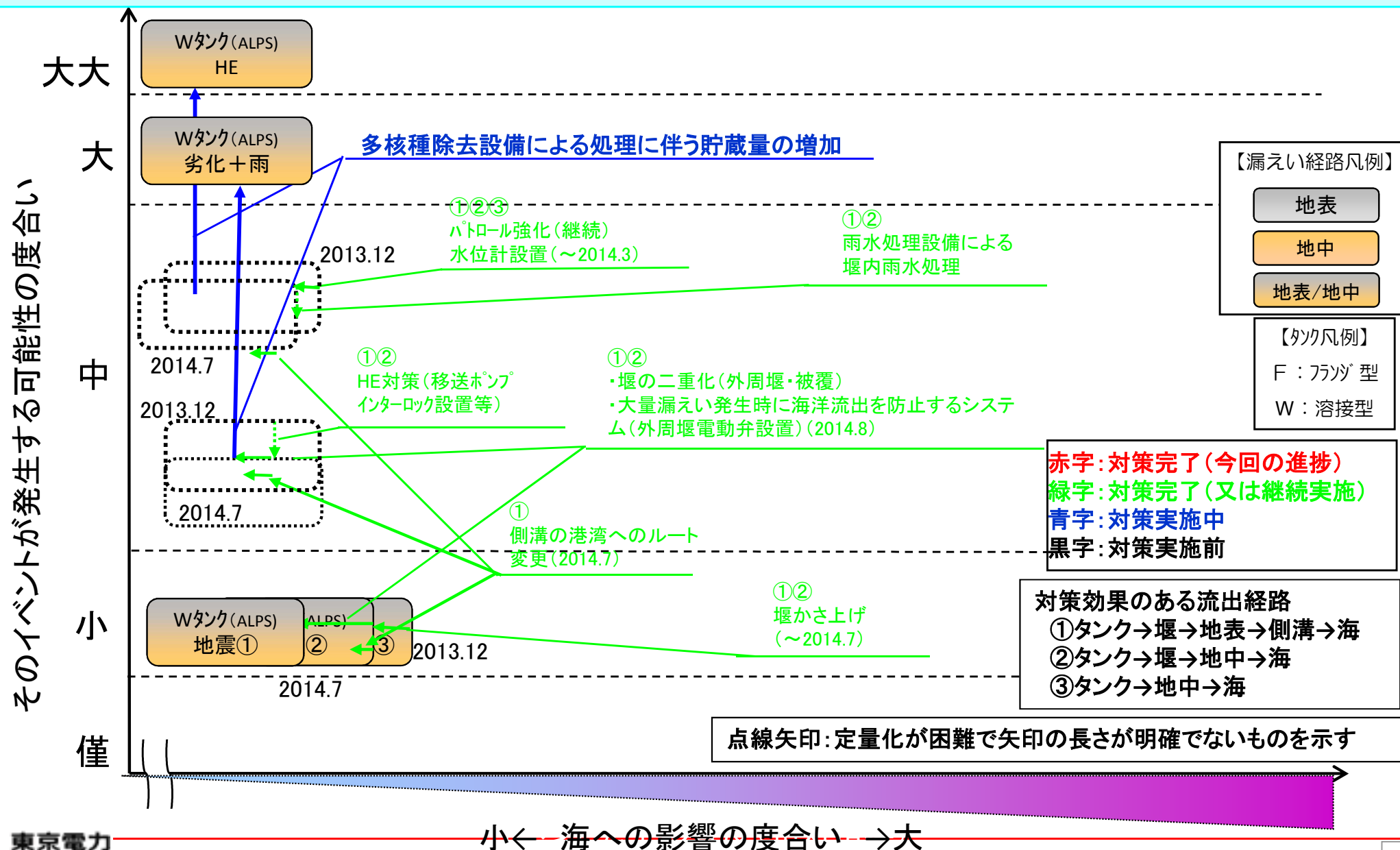
汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【⑥-2フランジタンク（ALPS処理水）／地震】

■タンクリプレイスにより、劣化による漏えいリスクを低減。



汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【⑦溶接タンク（ALPS処理水）】

■濃縮塩水、ストロンチウム処理水の処理に伴い、継続的に処理水貯蔵量が増加中（イベント発生可能性の度合いが増大）。



汚染水イベント発生リスクマップ（2015.7）【⑧Sr処理水】

- 濃縮塩水の処理に伴い、ストロンチウム処理水が増加。
- ストロンチウム処理水については、**多核種除去設備**で再度処理を実施中。

